

# 中津市の定住自立圏 構想の取り組み

小児救急体制の確保と  
県境を越えたバス運行等

大分県 中津市

A map of Japan with a callout box pointing to Nakatsu City, Oita Prefecture. The callout box is dark blue with yellow text. A red dot on the map indicates the location of Nakatsu City. The map is framed by a yellow border.

# 大分県中津市

# 中津市の位置関係





# 大分県中津市の概要

中津市は、大分県の北部に位置し、福岡県の東部地域と隣接した、人口約86,000人の県境の都市です。

本市は、豊前海、山国川、耶馬溪日田英彦山  
国定公園の一角をなす山々など豊かな自然に恵  
まれ、福澤旧居、名勝耶馬溪に代表される県下  
でも有数の観光地として知られています。

また、本市は県内でも屈指の工業集積を誇り、  
県北経済の重要拠点としての位置づけを担って  
きました。

近年では、ダイハツ九州株式会社をはじめと  
する自動車関連産業の進出や、海上輸送の拠点  
である中津港が重点港湾に選定されるなど、地  
域経済が発展しつつあります。

ゆかり  
中津市縁の偉人「福澤諭吉」





ゆかり  
中津市縁の偉人「黒田官兵衛」



2014年(平成26年)大河ドラマ

# 軍師官兵衛

【作】前川 洋一

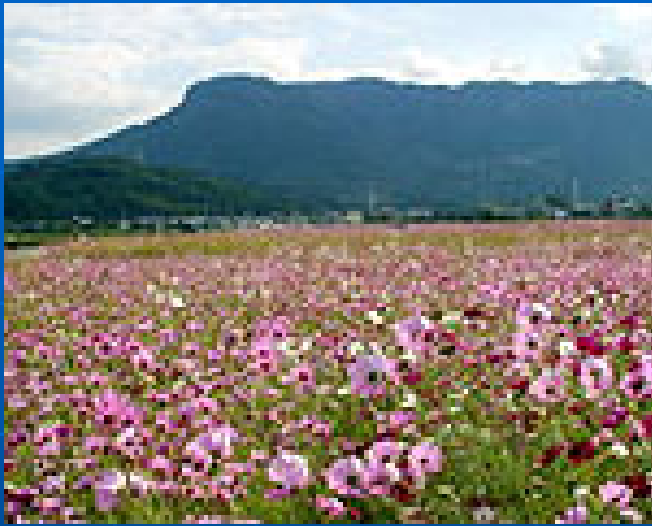
【主演】岡田 准一

この男がいなければ、豊臣秀吉の天下はなかった——

戦国乱世がクライマックスを迎えたそのど真ん中に、  
乱世を終わらせるために突如現れた稀代の天才軍師の鮮烈な生涯!

乱世の終焉を壮大に描く本格戦国時代劇。

# 中津市の観光スポット



三光コスモス園



競秀峰(きょうしゅうほう)



一目八景(ひとめはっけい)



神尾家住宅(かみおけじゅうたく)

# 九州周防灘地域定住自立圏の取組



# 黒田時代

天正15年(1587)～慶長5年(1600)  
(13年間)





# 圏域自治体





# 両県の医療圏を跨ぐ 中津市民病院の24万人医療圏

中津市民病院24万人医療圏

京築保健医療圏

福岡県

大分県

北部保健医療圏

中津市民病院



# 新中津市民病院(平成24年10月完成)



# 地域医療に関する従前からの取組

## 中津市民病院広域医療圏 対策研究協議会



24万人医療圏の住民が、安心して生活が送れるように、広域的な地域医療体制を確立することを目的として、平成19年8月に設立

# 協定書に規定した連携項目

## 1. 生活機能の強化

### ・小児救急医療体制の確保

- ・スポーツの振興
- ・勤労者福利厚生対策
- ・企業誘致、従業者対策

## 2. 結びつきやネットワークの強化

### ・コミュニティバスの共同運行

- ・UJIターン情報の共同発信
- ・広域観光ネットワーク
- ・広域道路網整備

## 3. 圏域マネジメント能力の強化

- ・合同研修、人材交流、専門家招聘



# 小児救急センターの必要性

## 小児救急の課題

中津市民病院において、365日・24時間体制で  
小児救急を実施



休日・夜間における救急患者は年々増加



医師が疲弊



小児科医師の継続的な確保が困難な状況

# 課題解決に向けて

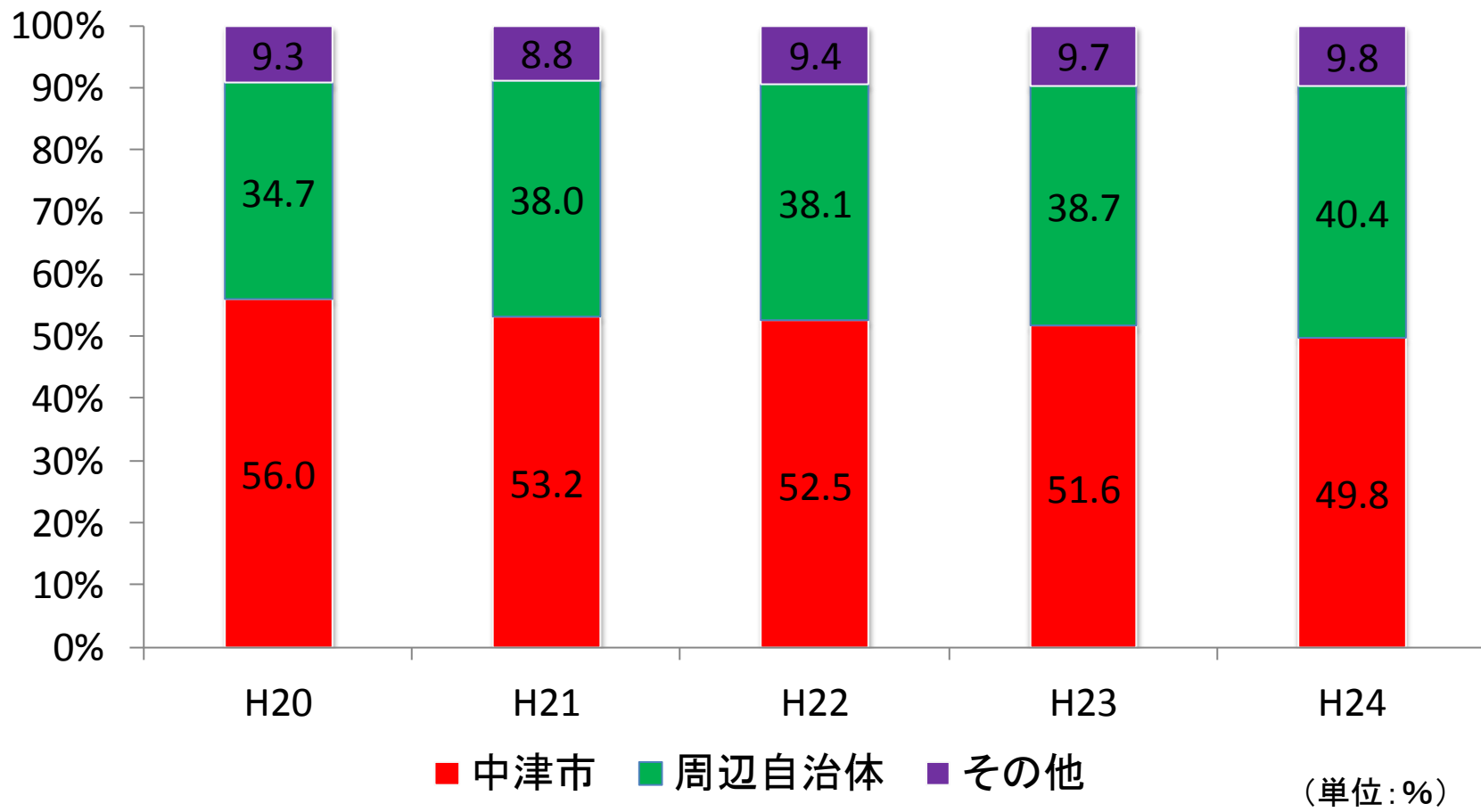
## 小児救急センター構想

- 定住自立圏構想で圏域自治体が費用負担
- 圏域内の医師会と連携
- 大学と連携した医師派遣



**小児救急医療の充実**  
(地域で支える体制づくり)

# 小児救急患者 休日・夜間居住地別割合の推移





# 新中津市民病院小児救急センター



(小児救急センター内)



(完成パース:鳥瞰図)

# コミュニティバスの必要性

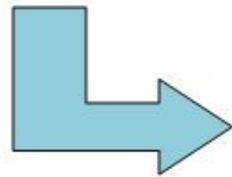
## ■ コミュニティバスの課題

- ・ 地方は急速な高齢化により、交通弱者が増加しており、通院や買い物など生活に必要な交通網の整備がますます必要とされている。
- ・ 民間事業者の参入が困難な地方では、自治体による整備が不可欠であるが、行政区域を越えた路線の整備はあまり進んでいない。

## ■ 解決策

行政区域に関わらず、実際の生活圏における移動パターンに応じた路線設定の実施。

# 豊前・中津線コミュニティバス





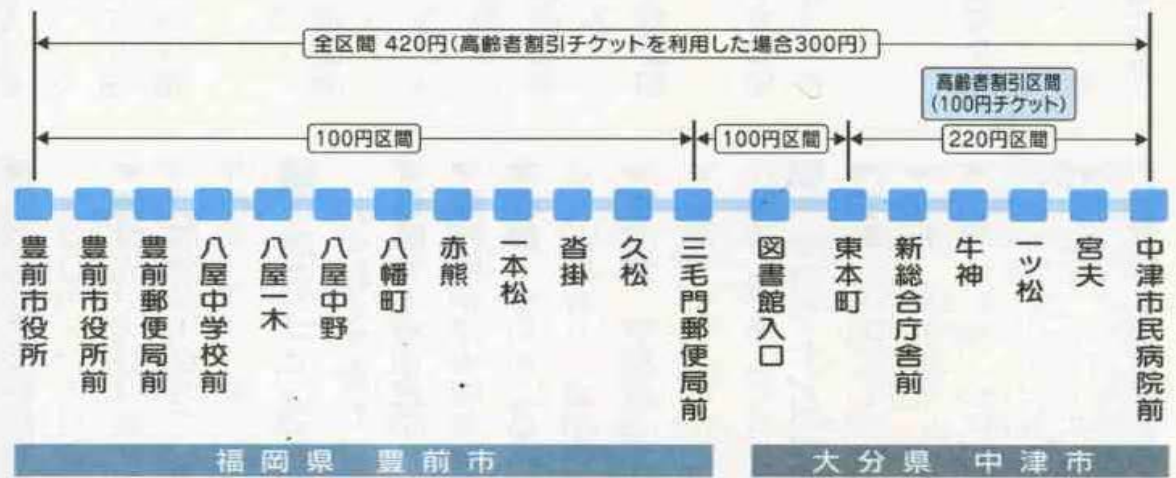
# 導入にあたり工夫した点

■ 65歳以上の高齢者に対する運賃補助 220円 ⇒ 100円

## ◆ 運行ルート・運賃

豊前市から中津駅北側を通り、中津市民病院に至るルートを往復します。

運賃は、右記の金額で、障がい者手帳を提示する人と小学生は半額、未就学児は無料です。



## ◆ 高齢者割引チケット

65歳以上の人は、高齢者割引チケットを利用して、「東本町バス停」と「中津市民病院前バス停」の区間を100円で、乗車することができます。(チケットを利用しない人、割引対象者以外は220円です。)

※ 同じ路線で運行されている民間路線バスにも、この区間で利用できます。(障がい者割引との併用はできません。)

### 購入方法

乗車前に10枚綴り1,000円のチケットを大交北部バス(株)中津駅前バス出札所で、購入してください。

手続きの際は、保険証など本人の年齢が確認できる証明書の写しが必要です。

■ 問合せ先 大交北部バス(株) ☎22-0071

# 豊前中津線コミュニティバス



中津市民病院到着時の様子

# コミュニティバスに関する役割分担

## 【費用】

- ・路線距離に応じて費用を分担

## 【運行】

- ・中津市、豊前市の共同運行
- ・民間事業者に運行委託

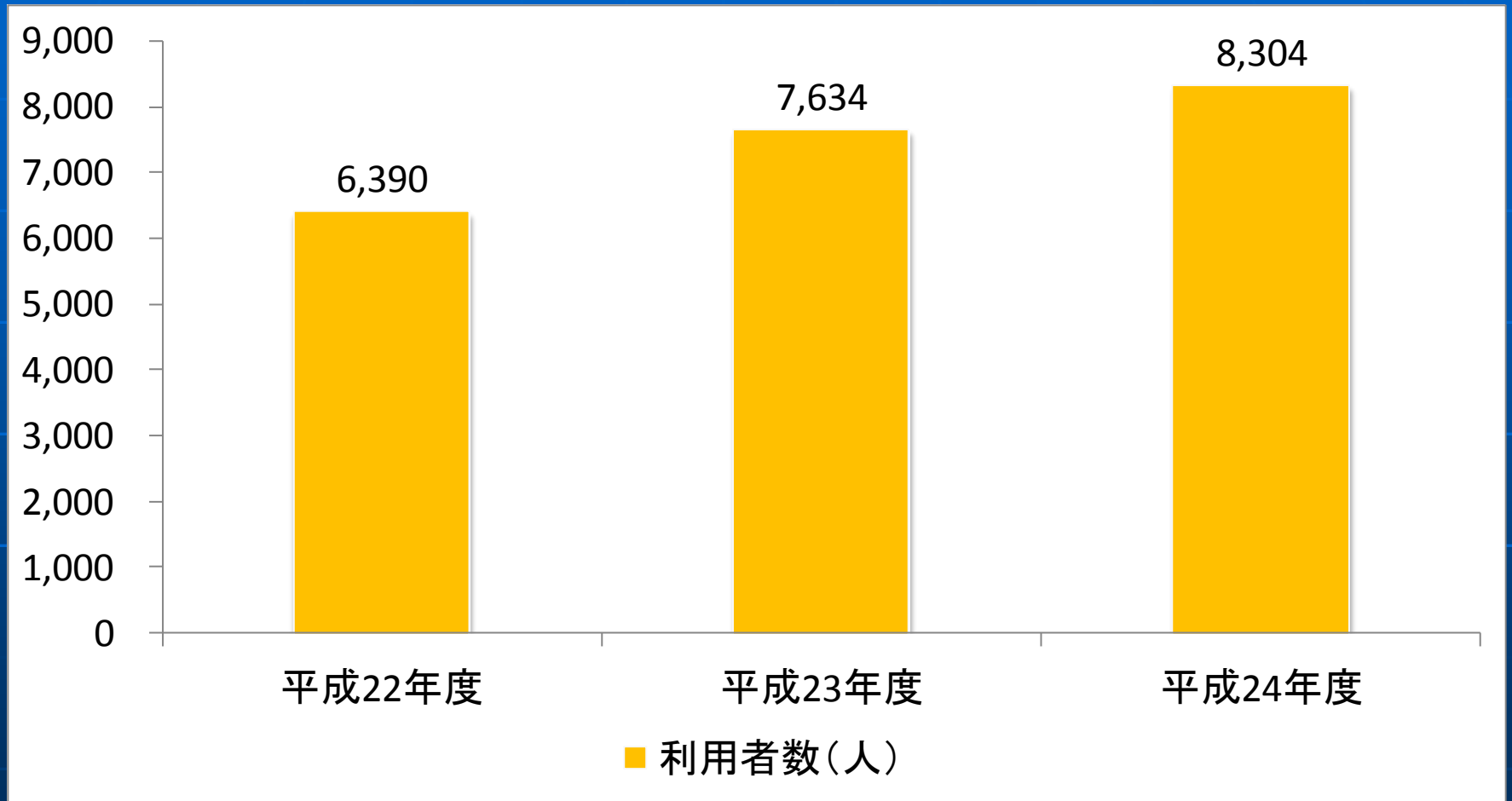
## 【公共交通会議】

- ・各自治体ごとに会議を開催

## 【その他】

- ・公共交通機関との連携を互いに推進

# コミュニティバス利用状況



※平成22年度は4月26日からの利用者数



# 協定書に規定した連携項目

## 1. 生活機能の強化

- ・小児救急医療体制の確保
- ・スポーツの振興
- ・勤労者福利厚生対策
- ・企業誘致、従業者対策

## 2. 結びつきやネットワークの強化

- ・コミュニティバスの共同運行
- ・UJIターン情報の共同発信
- ・広域観光ネットワーク
- ・広域道路網整備

## 3. 圏域マネジメント能力の強化

- ・合同研修、人材交流、専門家招聘

# ～ 最後に ～

- **地方の活性化のためには...**
  - 定住人口の確保
  - 交流人口の増加
  - 圏域の一体的な発展 が必要不可欠
- **そのためのキーワード**
  - 実情に応じて柔軟に
  - 要望に迅速に
  - ネットワークを構築し効果的に

END